

目標達成計画

作成日: 平成 27 年 10 月 23 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	3	平日の昼間の開催で家族の参加がない回がある。家族が参加しやすい日程を調整すべき。	年2~3回くらいは家族が1組でも参加できるように日程調整をする。	役場にも土日の会議に参加していただくよう協力をお願いし、また家族にも郵送でお知らせするだけでなく、来所の際や電話にて参加をお願いする。	12ヶ月
2	13	いざという時に職員が慌てず避難誘導できるよう自主訓練回数を増やす。	年2回、全体での避難訓練の他に自主訓練を年に4~6回程度は行う。	2~3ヶ月に1度程度の頻度で職員だけで避難誘導の手順の確認を行う自主訓練を行う。	12ヶ月
3	15	決められたものばかりではなく、好きな飲み物など、その日の希望によって利用者それぞれに選択できる機会を作るべき。	酵素ジュースを提供する日以外は利用者の希望を聞き、数種類の飲み物の中から好きなものを選んでもらえるようにする。	コーヒーや紅茶、フルーツジュース等、数種類を常にストックしておき、お茶の時間には全員に希望を聞き、提供する。	1ヶ月
4	17	毎日、利用者の希望を聞き、希望のある利用者全員が入浴できる環境を整備してほしい。	希望者がいれば、入浴予定の方以外も入浴できるよう支援する。	利用者それぞれの希望を聞き、またその日の体調を考慮しながら、出来る限り、入浴出来る体制を整える。	12ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNoを記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。